



うぐいす会 会長 大森 加代子さん

地域の民話や故事を語り継ぐ 脚本家を育てた母

築上町の朗読ボランティア「うぐいす会」は平成2年(1990)に設立された、民話や地元の故事を語り継ぐ会です。毎年、紙芝居や本の読み聞かせを地元の小学校、学童保育、介護施設等で年間40回あまり行っています。

大森さんは平成5年(1993)に参加後、転勤で中断する時期もありましたが、最近の15年間は中心となり活動を牽引していらっしゃいます。今年は新型コロナの影響で休止しているということですが、コミュニティFMスターコーンで毎月、地域の史跡巡り、わが町再発見や日本の民話を朗読しているそうです。



町に伝わる故事の紙芝居や朗読で、子どもたちが石碑や場所の謂れを知って感激してくれる姿が活動の原動力。紙芝居は、「大蛇の住んだ池」など多数、地域の民話や日本昔話から台本や絵画をすべて手作りしており、作り貯めた演目はすでに40組。常に新たな地元民話作品を仲間たちと創作していらっしゃいます。そんな大森さんの読書や芝居好きの性格は、しっかり娘さんに受け継がれ、なんと娘の美香さんは日本を代表する脚本家として活躍中です。

美香さんは、平成17年(2005)度のNHK朝ドラ「風のハルカ」で大分県由布院を舞台にした脚本を手がけ、平成27年(2015)度の朝ドラ「あさが来た」では、空前の高視聴率を生み出します。主人公あさが経営する炭鉱坑夫の親分「次郎作」という名には、故郷築上町の絆を感じます。令和3年(2021)に放映予定の大河ドラマ「晴天を衝け」では、激動の幕末、明治を駆け抜け、近代日本に必要なものを生み出した渋沢栄一の生涯を辿りながら、日本中の人たちに大きなメッセージを届けてくれることでしょう。そして母・加代子さんは、美香さんを見守りながら、築上町にどっしり根を張り、うぐいす会の活動を推進中。共に活動していただける方を募集中ということです。

(レポーター/mulberry)

話題のお店
Keichiku Gourmet
石窯PIZZA
カパリリ

令和2年5月開店

聞き慣れない店名【カパリリ】は、ハワイ語で【ワクワクや胸のドキドキ】を意味しています。

職人の手により、生地作りから石窯での焼き上げまでが行われ、信頼できる美味しさを提供しています。ピザは8種類(全て25cm)。名前が「マルマル・トロトロ・ウミウミ」など斬新で、子どもにも親しめるようにとオーナーの森さんが命名。4種類のクラフトビールやワインも一緒に楽しめます。

(レポーター/とらババ)



*マルマル(マルゲリータ).....880円
*トロトロ(チーズたっぷり)....1280円
他6種類も同価格(全て税込)

Shop Information

【住】みやこ町国分1319-3 (豊津、国道496号沿い)
【☎】0930-55-0690 【P】30台
【営】11:00~20:00 【休】日・月



編集後記

編集委員の皆さんが選りすぐった、特集「京築うん・そばめぐり」どうぞお出かけください。地元築上町出身の大森美香さんが脚本する初めての大河ドラマ「晴天を衝け」は2月から放送開始予定です。今の時代にも投影される苦境に立たされた主人公「渋沢栄一」が踏ん張って数々の偉業を残す青春ドラマが楽しみです。

(レポーター/mulberry)

京築応援団便り
豊のくにけいちく

「京築応援団」団員募集中!(入会無料)

京築を応援するファンクラブに入りませんか?
お申し込みは「京築まるごとナビ」から

発行: 京築連帯アメニティ都市圏推進会議 事務局 (福岡県広域地域振興課内)
企画編集: 京築応援団会報編集委員会、豊の国海幸山幸ネット
問い合わせ: 福岡県広域地域振興課 / 〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号
TEL.092-643-3178 / FAX.092-643-3164 / E-mail.koiki@pref.fukuoka.lg.jp



京築ってココ

お祭りクイズ



【問1】
等覚寺の松会に登場する田んぼの神様なうんだ?



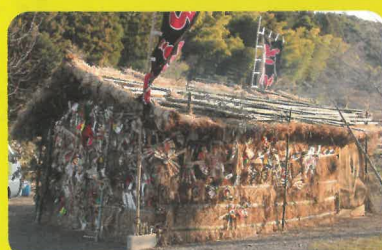
【問2】
水軍の末裔たちが射的を射るお祭りなうんだ?



【問3】
鶏のカザリを頭にのせて楽打ちするお祭りなうんだ?



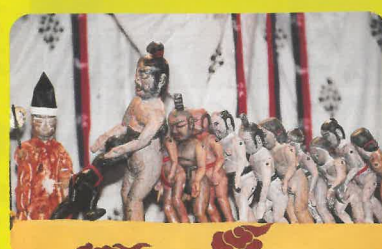
【問4】
頭が良くなる?知恵もちが名物のお祭りなうんだ?



【問5】
薬の家を丸ごと燃やしてしまうお祭りなうんだ?



【問6】
この獅子頭が登場する春のお祭りなうんだ?



【問7】
4年に1度執り行われる伝統の神事なうんだ?

※答え(問1)おとこ山(問2)おとこ山(問3)おとこ山(問4)おとこ山(問5)おとこ山(問6)おとこ山(問7)おとこ山

豊のくにけいちく

京築応援団便り

冬
vol.41

Toyonokuni Keichiku.2021 January

©IZUMI HARAGA



心をひとつに
冬の京築

京築

2020年は予期せぬコロナ禍で、オリンピックも延期生活が大きく変わった1年でした。2021年こそは、祭りも神楽もイベントも、新型コロナウイルス感染症に気を付けながら楽しみたい! 鎌倉時代の貿易商「謝国明(しゃこくめい)」が博多で始めた「とされる、幸運を運んでくる「運そば」にちなんで、「京築うん・そばめぐり」を特集します!

符が良い年になりますように!



▲そばランチセット 1350円(税込)
(スイーツ・ドリンク付き)

等覚寺を堪能!
元祖山伏流そば!

天空カフェ

〈刈田町〉

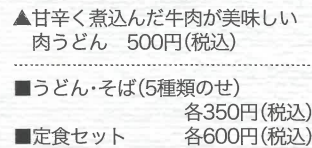
山伏の里である等覚寺地区の「天空カフェ」で、毎週土曜日に提供される「元祖山伏流そば」。等覚寺の棚田の保全活動などに取り組むボランティア団体が、ソバの実の種まきから収穫、製粉までを手がけた香り豊かな手打ちそばです。美しい棚田の景色を眺めながら、まごころ込めて作られたそばをぜひご賞味ください。

(レポーター/ニンニン)

【住】刈田町山口2558
【☎】050-7128-7715
【営】土(11:30~15:00)

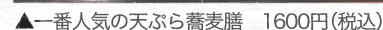


[住] 上毛町大ノ瀬304番地1 (道の駅しんよしとみ構内)
 [☎] 090-6635-3178
 [営] 9:00~16:00 (ご飯がなくなり次第終了)
 [休] 不定休



[住] 吉富町大字広津743-1
[☎] 0979-24-6050
[営] 11:00~15:00、
16:30~22:00
[休] 年末年始

極限に細く美しい蕎麦

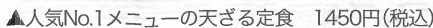


[住] 築上町赤幡439-2
 [☎] 050-1285-6138
 [営] 11:00～14:30(蕎麦がなくなり次第終了)
 [休] 月(仕入れのため、他曜日休むことあり)

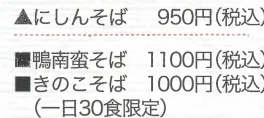
うんそば
めぐり



[住] 行橋市大橋1-3-57
[☎] 0930-24-5633
[営] 11:00~15:00
[休] 日、月、祝



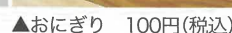
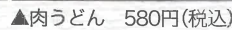
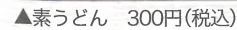
次世代に伝えたい
和食の文化
手打ち蕎麦



[住] 豊前市八屋2038-11
[☎] 0979-82-0619
[営] 10:00~15:00
[休] 水



[住] みやこ町犀川生立54-1
 [☎] 0930-42-3339
 [営] 11:00~14:00
 ※うどんのだしがなくなり次第終了
 [休] 第2・第4水、12/31、1/1~1/6



地元産野菜の天ぷらを
のせていただく絶品うどん

修験と神楽とエコロジー

福岡県指定の文化財である水哉園(仏山塾)は天保6年(1835)漢学者、村上仏山が開いた私塾です。村上仏山(諱は剛)は文化7年(1810)この地に生まれました。

幼時、地元元神官、定村直栄に学び、15歳から秋月の原古処、博多の亀井昭陽、さらに京都など各地で学んだ後、26歳でこの塾を開きました。

仏山塾は全寮制で厳しい塾則があり、試験による進級制度を取り入れていました。文学と漢詩文を中心とした講義を通して人間づくりに重きを置いた教育が行われました。

明治12年(1879)に仏山が70歳で没した後も養嗣子の静窓

に受け継がれ、明治17年(1884)まで50年間続きました。その間に、全国各地から三千人もの入門者がありました。なかでも末松謙澄(通信大臣、内務大臣)、安田伴一郎(八幡製鉄所長官)、吉田増蔵(昭和の元号考案者)など中央で活躍した人をははじめ、狭間畏三、守田養洲、杉山卓(大田)といったこの地方の先達者など、数多くの優れた政治家、学者、名僧、医師が巣立っています。

仏山は、日本の漢詩壇をかざさる大詩人でもあり、著書『仏山堂詩鈔』(全三篇九冊)は、私塾の教科書として広く各地で用いられています。

(レポーター) 若草物語



[住] 行橋市上稗田

1月から、京築7市町を対象とした「京築めぐりスタンプラリー」を開催します。獲得したスタンプの数に応じて、抽選で京築の特産品が当たります。この機会に京築地域を周遊して、地域の魅力を再発見してみませんか。

- 開催期間/令和3年1月4日(月)～3月1日(月)
- スタンプ設置場所/京築7市町の施設・観光地

詳しくは京築まるごとナビで！ (<https://www.keichiku.info/index.php>)

- 京築めぐりスタンプラリーの問い合わせ先
京築連帯アメニティ都市圏推進会議事務局(福岡県広域地域振興課内)
☎092-643-3178

福岡県が配信する「ふくおか健康ポイントアプリ」で楽しく健康づくりしませんか？
ウォーキングや、体重、血圧、健（検）診受診の記録等でポイントが貯まり、協力店でのサービスや、抽選で素敵な賞品が当たるなど、お得な特典が受けられます！



- ふくおか健康ポイントアプリの問い合わせ先
福岡県保健医療介護部健康増進課 ☎ 092-643-3269



京築民話の

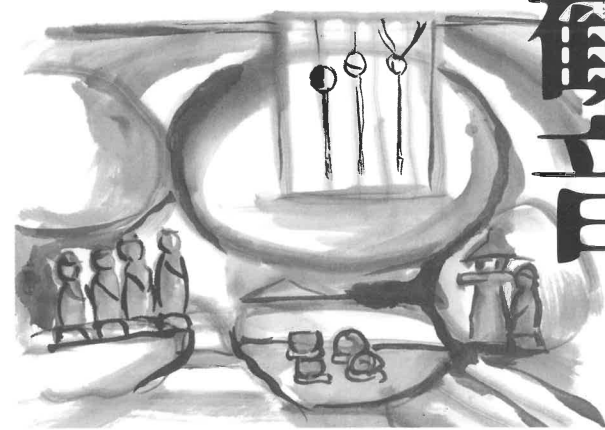
ふろこ瓦版

胸の観音

みやこ町勝山黒田

令和2年(2020)

に始まったコロナ禍は、年を越しても、まだまだ続く気配。今回は、胸部疾患の治療に、利益があると、昔から多くの信仰を集めてきた、みやこ町勝山黒田にある「胸の観音」に伝わる民話をご紹介します。



「土壇銀座」と呼ばれ、数多くの古墳がある黒田地区。黒田神社の東にある村中の道を登っていくと、標高2300メートルの鹿ヶ峰、別名観音山と呼ばれる小山の頂上付近に、巨大な花崗岩の巨石が積み重なってできた岩窟があります。これが「胸の観音」と呼ばれている天台宗の観音寺で、巨石の間にたくさんのお観音様が祀られています。どうしてこの場所が胸の病に苦しむ人々の信仰を集めるようになったのでしょうか。観音山の裾野に広がるみやこ町、行橋市の風景の中にその伝承を探していきます。



今から千年も昔、延永の里には延永長者と呼ばれる長者様が住んでいました。

延永長者の田んぼは表千町裏千町と言われるほど広くて大きな田んぼだった。ある年のことだった。毎日毎日、日照りが続き、池や川の水も枯れ、長者の田んぼの水も枯れてしまった。このままじゃ田植えはできんし、里人はみんな飢えてしまふ。龍神様の祟りかと思うた長者は、雨乞をしたり神仏に祈ってみたら、雨はまったく降らんかった。

そこで、長者は、小松ヶ池に住む龍神の元を訪ね、「どうか雨をお恵みください」とお願いした。すると池の中から、「ならば娘を一人差し出せ、さすれば雨を降らせよう。民が困ることなく、たわな稲の美りを与えてやろう」と約束してくれた。

やがて雷鳴のような龍神の声とともに、雨がさんざか、さんざか降ってきた。干からびた田んぼは水が潤い、村人たちは「長者様の功德のおかげじゃ」と喜んだ。

稲が黄金に色付いても、娘を差し出さなければならぬ。長者は苦しくて苦しめてきた。その様子を見かねた心優しい末娘の早苗姫が、「私が龍神の元

に参りましよう」と名乗りだした。とうとう稲刈りも済み、龍神との約束の日が来てしまった。村人たちに見送られた早苗姫と乳母は、夕闇の小松ヶ池に向かうと、香を焚き龍神を待った。すると池の水面がずんずく、ずんずく膨れ上がって大波が来てのお、大蛇の姿をした龍神が襲いかかってきた。

早苗姫はとっさに懐中の経巻を取り出し、一心不乱に読経し、一巻終わるたびに経巻を針として池に投げ入れ、また読経し投げ入れた。八回ほど繰り返すうちに、お経を飲み干した龍神は観音経の法力と針の痛みに耐えかねて苦しみ悶え始めた。ついには水底に沈み死んでしまった。

ようやく難を逃れた早苗姫は、乳母に支えられ延永の里へと戻ろうとしたが龍神の毒気に激しい胸の痛みを訴えはじめてのお。

乳母は着物の袖の袂に、湧き水を含ませて早苗姫に飲ませると、「私は観音様の法力で救われました。しかし、このような苦しみは私一人ではなく、みんなです。私はあの世で、万病、万難に苦しむ人を救いましょう」と息絶え絶えに語り、成仏した。里人たちは早苗の死を嘆き悲しみ、霊を慰め、その思いを伝えるために、鹿ヶ峰の岩窟に観音様を祀り、いつしか「胸の観音」と呼ばれるようになった。

おしまい。



胸の観音

早苗姫

ところで、人身御供として身を捧げた早苗姫の霊は、なぜ小松ヶ池ではなく観音山と呼ばれる鹿ヶ峰に祀られたのでしょうか。

日本人は古くから巨石や巨木に神が宿ると考え信仰の対象としていたようです。さらに巨石の岩陰に観音様が祀られるようになり、等覚寺の山伏が修行を行う霊場「鹿ヶ峰の観音」となり、早苗姫の伝承に結びついたものとみられます。

また、胸の病に効くという効能が広まった背景には、民間医療にも携わっていた山伏の存在があったのではないのでしょうか。

また、胸の病に効くという効能が広まった背景には、民間医療にも携わっていた山伏の存在があったのではないのでしょうか。

また、胸の病に効くという効能が広まった背景には、民間医療にも携わっていた山伏の存在があったのではないのでしょうか。

また、胸の病に効くという効能が広まった背景には、民間医療にも携わっていた山伏の存在があったのではないのでしょうか。



早苗姫

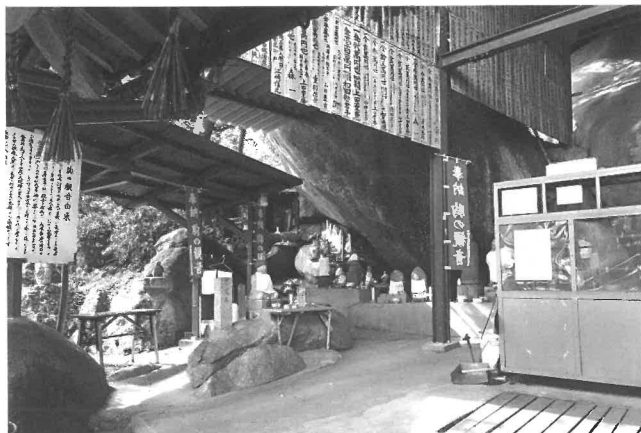
龍神が住んでいたという「小松ヶ池」は現在、地図上にみることはできません。

みやこ町勝山「池田」の集落の名称は、昔、この地に池があったことに由来すると伝えられます。また江戸・大正時代には水田から「池の木樋」が発見され、現在もその一部が「胸の観音」等で祀られています。みやこ町歴史民俗博物館の井上信隆学芸員によると、平成11年(1999)・13年(2001)度にこの集落で行われた発掘調査の結果、国内最古の池「狭山池」(大阪府)に酷似した池の取水口を検出。その構造などから、中国・朝鮮半島から伝えられた当時の最新技術を結集して築かれた池がこの地に存在していたことが確認されたそうです。発掘を担当した井上さんは、「国内で2例のみ」という木柱が出土したことに感動。当時のハイテク技術で築かれた「池の記憶」を後世に伝えるため「小松ヶ池の龍神伝説」が作られたのではとの見方を示しています。

現在「胸の観音」は、地元の工藤哲久さんたちや近郊の方々が守り清め、5月18日の大祭と早苗姫の月命日である毎月18日、毎週日・祝日は、店を開け参拝者の方々をお迎えしているそうです。

さらに小松ヶ池から延永の里への帰路、胸の痛みを苦しんだ早苗姫に、乳母が袖の袂に水を含ませ飲ませた湧水のある場所は、「袂水」として祀られており、お水を汲みに来られる方もいます。

胸の病に苦しむ人を助けると言い伝えられてきた「胸の観音」、コロナ禍の今こそ巨石に祈りを捧げ疫病退散を祈りたいものです。



▲胸の観音(みやこ町勝山黒田)

追記

昭和40年代小学生だった筆者は、行橋市・京都郡の先生方が京築の民話を題材に自作自演された民話劇「胸の観音」に感動。実はこの体験が民話瓦版を書く原点です。昭和62年(1987)・平成3年(1991)に行橋中学英語劇部が「胸の観音」を英語劇として上演。さらにこの脚本を使って京都郡勝山町(現みやこ町勝山)のA.L.T.の先生方も上演。時を超えて早苗姫の思いは様々な形で受け継がれているようです。

参考文献

『みやこ町 博物館だより』NO.19・NO.16
『ものがたり京築』京築民話の会 葦書房
『豊前路の民話と伝説』宇都宮泰長編 鶴和出版
『明日への中学生の夢を育む英語劇』森友敦子 三友社